

独自戦略2 持続的に稼げる企業創出による潟上産業活性化

施策9 稼げる企業及び雇用創出支援の強化

**1 令和6年度 施策の方向性**  
 企業が持続的に発展するためには企業イメージ向上により企業価値を高め、人材育成により企業の競争力を強化することが重要となる。そのため、持続可能な経営戦略及び人材の価値を最大限に引き出す人材戦略を支援し、稼げる企業及び雇用創出支援を強化する。

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

- (1) SDGs 促進事業**  
 持続可能な地域社会の実現に向けた取組によって、企業価値向上を目指す事業者に対し、秋田県SDGsパートナー登録制度の活用による取組の見える化を支援した。  
 ■活動内容 ・秋田県担当者と連携した申請支援  
 ・ホームページによる「秋田県SDGsパートナー登録制度」の周知  
 ■達成状況 ・県SDGsパートナー登録制度登録事業者数：5件（5件）  
 ・県SDGsパートナー登録事業所の紹介（本会会員）：3件（3件）
- (2) 職場環境整備促進事業**  
 多様で柔軟な働き方の実現による従業員の職場定着や雇用の促進に向けて、就業規則の見直しなど働きやすい職場環境の整備を支援した。  
 ■活動内容 ・チラシ及びホームページによる「一般事業主行動計画」の周知  
 ・専門家派遣を通じた一般事業主行動計画のフォローアップ、高度化支援  
 ■達成状況 ・職場環境整備（一般事業主行動計画策定等）に係る専門家派遣件数：3社（3社）
- (3) 人材育成強化事業**  
 若者や女性等が活躍しキャリアアップすることで、企業競争力の原動力へと育成するためにセミナーを開催して支援した。  
 ■活動内容 ・コミュニケーション能力及び相互の関係を構築するスキル習得のための講師選定  
 ・チラシ及びホームページによる開催周知  
 ■達成状況 ・人材育成セミナーの開催：2回（2回）
- (4) 人材マッチング促進事業**  
 企業ガイドブック及び動画の作成や関係機関と連携した新規学卒者及び幅広い人材を対象とした就職フェア（企業説明会）を開催し、新たな人材とのマッチングを支援した。  
 ■活動内容 ・潟上市求人企業ガイドブック2024の作成（1,000部）  
 ・開催チラシ及びガイドブックを、高校・専門学校、大学等関係各所へ配布。あわせてハローワーク秋田・ハローワーク男鹿にて一般求職者へ配布  
 ・参加企業向けセミナーの開催「テーマ：高卒採用 活動のポイント」  
 ・終了後アンケートの実施（参加企業、参加求職者、高校教諭）  
 ■達成状況 ・就職フェアの開催：1回（1回）  
 ・就職フェア・ガイドブックへの参画企業の新規雇用者数：29人（5人）  
 ▽かたがみ企業就職フェア2024  
 参加企業：16社  
 参加求職者：一般7名  
 採用状況：2名／2社（就職説明会参加者）  
 共催：潟上市、ハローワーク秋田・男鹿  
 後援：秋田地域振興局、秋田県教育委員会

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 秋田県SDGsパートナー登録制度登録事業者数 登録を支援した事業者数	4件 (5件)	5件 (5件)	5件 (5件)	(5件)	(5件)
達成状況	未達成	達成	達成		
(2) 企業説明会・PRパンフへの参画企業の新規雇用者数 商工会が主催する人材マッチング事業への参画企業を対象とする。	1人 (5人)	57人 (5人)	29名 (5人)	(5人)	(5人)
達成状況	未達成	達成	達成		

**4 施策目標に関する検証**

- (1) 県SDGsパートナー登録制度への登録事業者数**  
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか  
 ・SDGs 促進事業  
 制度周知を図るため、巡回による個社訪問により直接的な制度周知に取組んだこと。これにより目標達成に至ったこと。  
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか  
 ・SDGs 促進事業  
 SDGs パートナー登録制度の登録事業者に対し、実際の取組に対する実行支援まで至らなかったこと。
- (2) 企業説明会・PRパンフへの参画企業の新規雇用者数**  
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか  
 ・人材マッチング促進事業  
 求職者に対し、企業ガイドブックやホームページにより、求人企業情報を提供するとともに、企業PRにもつなげたこと。  
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか  
 ・人材マッチング促進事業  
 県内高等学校及び各教育機関への事業周知が遅くなったため、来場した求職者が少なかったこと。

**5 次年度への改善点**

- (1) SDGs 促進事業**  
 継続的な制度周知により、登録を促進するほか、実際の取組や1年後の実績報告までフォローアップ支援を行う。
- (2) 人材マッチング促進事業**  
 事業に早期着手し、求職者に対して早い段階でチラシ等を周知することによって、参加者増加を目指す。